

## 平成 26 年度北海道立アイヌ民族文化研究センター事業実施報告

2015/11/10

## 1 調査研究

## (1) 研究課題

平成 26 年度実施の研究課題

## 1 アイヌ語筆録ノートに関する基礎的調査研究 (H25～26)

研究センター及び他の機関が所蔵する貴重なアイヌ語筆録ノートについて、横断的な総目録を作成する等、ひろくアイヌ語の学習・継承・研究の資料として活用できるための整理・保存等を進める。

## 2 アイヌ口承文芸「和人の散文説話」資料に関する調査研究 (H24～27) ※延伸

アイヌ口承文芸の中でも研究の蓄積の乏しい「和人の散文説話」と呼ばれるジャンルについて、未公開資料の文字化・翻訳・訳注を進め、それらの特徴を明らかにするとともに、アイヌ口承文芸の学習・研究の基盤の整備を図る。

## 3 近代北海道のアイヌ教育史に関する調査研究 (私立学校や中等教育を中心に) (H 22～26)

明治から戦前にかけてのアイヌ教育史の一環として、キリスト教関係者によるアイヌ児童を対象とした私立学校の設立の経緯、歴史や学校の実態や、上級学校への進学状況、進学支援の施設や制度の実態などを明らかにする。

## 4 道内各地に伝承されるアイヌ音楽のレパートリー及び伝承状況に関する調査研究 (H 22～28) ※延伸

道内各地で伝承されているアイヌ音楽について、伝承の現状を把握し、伝承内容の変化などの情報を整理し、研究の基礎資料、各地域の伝承活動の参考資料としての整理を行う。

## 5 アイヌ史関係新聞記事資料に関する調査研究 (渡島・檜山地方) と「北海道内地域発行新聞アイヌ史関係記事データベースの」構築 (H 21～27) ※延伸

戦前の渡島・檜山の地域新聞に掲載されたアイヌ関係記事を調査収集し、整理・分析することで近代アイヌ史の基礎資料を整備し、この地域のアイヌの歴史の一端を明らかにする。また、胆振・日高、釧路と継続して調査してきた資料をとりまとめて、アイヌ史関係記事のデータベースの構築を図る。

## 6 カムイとアイヌの相互交渉に関する調査研究 (H 16～26) ※延伸

カムイとアイヌ相互交渉について、様々な事例を収集し、それらのデータ分析に基づいてアイヌの世界観の一端を明らかにする。

## 7 「山田秀三文庫」の整備と分析調査 (H16～26) ※延伸

山田秀三文庫の内容、特徴、背景、相互の関連性を分析し、研究用、学習用の資料に供する。

## 8 「北海道東部地域のアイヌ語資料に関する基礎的調査」(H26～29)

これまでの研究蓄積の乏しい北海道東部に関するアイヌ語について、既存の音声資料の所在調査、言語データベースの構築、それらを踏まえた文法研究を目指す。

(2) 研究紀要の発行

2015年3月 第21号刊行(850部)

2 市町村が所蔵する関係資料の整理・保存

(北海道博物館との組織統合準備のため中止)

3 公開・提供事業

職員採録資料等

11点(公開準備中)

その他、「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ事業」による資料検索・視聴システムを整備中

4 普及事業

(1) センターだより

2014年11月20日 第41号刊行(1,500部)

2015年3月16日 第42号刊行(1,500部)

(2) センター年報

2014年6月2日 2013(平成25年度)版刊行(830部)

(3) ホームページ

平成26年度

3回更新(企画展等行事の案内、北海道博物館に関する記事、刊行物紹介など)

(4) 資料展及び関連事業

・リニューアル予告展「北海道開拓記念館から 北海道博物館へ」

主催：北海道開拓記念館、アイヌ民族文化研究センター

来館者総計：4,864名

下記場所を巡回する形で開催

江差町	6月1日～14日	旧檜山爾志郡役所(江差町郷土資料館)
	来館者 365名	
知内町	6月20日～7月3日	知内町文化交流センター
	来館者 263名	
今金町	7月9日～21日	ピリカ旧石器文化館
	来館者 309名	
奥尻町	7月30日～8月10日	奥尻町海洋研修センター
	来館者 168名	
広尾町	8月23日～9月7日	広尾町海洋博物館
	来館者 171名	
帯広市	9月13日～28日	帯広百年記念館
	来館者 647名	
別海町	10月7日～20日	別海町郷土資料館
	来館者 82名	

足寄町	10月29日～11月10日	足寄動物化石博物館
	来館者 747名	
根室市	11月15日～30日	根室市総合文化会館
	来館者 528名	
浦幌町	12月6日～19日	浦幌町立博物館
	来館者 589名	
釧路市	12月25日～1月18日	釧路市立博物館
	来館者 986名	

- ・リニューアル予告展「北海道開拓記念館から 北海道博物館へ」関連講座  
今金町と別海町で、アイヌ文化に関する講座を開催。

#### ○今金町

- ・子ども体験講座「アイヌの楽器ムックリを鳴らしてみよう」  
日 時：7月12日（土） 場 所：ピリカ旧石器文化館  
講 師：甲地利恵（アイヌ民族文化研究センター研究課長）  
参加者：16名
- ・一般向け講座「今金町とその周辺のアイヌ語地名を見る」  
日 時：7月12日（土） 場 所：今金町民センター  
講 師：小川正人（アイヌ民族文化研究センター研究主幹）  
参加者：36名

#### ○別海町

- ・一般向け講座「アイヌ語と口承文芸の世界—北海道東部を中心に—」  
日 時：10月12日（日） 場 所：別海町郷土資料館  
講 師：田村雅史（アイヌ民族文化研究センター研究職員）  
参加者：12名
- ・子ども体験講座「アイヌ民族の狩りとわな」  
日 時：10月12日（日） 場 所：別海町郷土資料館  
講 師：出利葉浩司（開拓記念館学芸副館長）  
参加者：10名

- ・「2014 サイエンスパーク」

開催日：8月6日

場 所：ケーズデンキ月寒ドーム（札幌市豊平区）

主 催：北海道・(独)北海道立総合研究機構)

※北海道開拓記念館と共同出展

- ・平取町立二風谷アイヌ文化博物館 第20回特別展「アイヌ民俗資料を守り伝える力」

会 期：10月15日～12月15日

会 場：平取町立二風谷アイヌ文化博物館

共 催：平取町教育委員会、北海道立アイヌ民族文化研究センター

- 登別市郷土博物館特別展『山田秀三とアイヌ語地名』  
会 期：2014年11月26日(水)～1月25日(日)  
会 場：登別市郷土資料館 来場者 451名  
共 催：登別市教育委員会、北海道立アイヌ民族文化研究センター
- 登別市郷土博物館特別展関連講座「アイヌ文化講座～学んでわかるアイヌ文化～」  
日 時：2015年1月17日(土)  
会 場：登別市民会館  
内 容：「山田秀三のアイヌ語地名研究について」  
講師 小川正人(当研究センター主幹)  
「室蘭登別のアイヌ語地名の調査 –インカラアンロから–」  
講師 小阪博宣(知里真志保を語る会事務局長)

(5) レファレンスその他(平成25年1月31日現在)

資料閲覧コーナー利用者	134人
(うち公開資料の閲覧・視聴)	(31人/66点)
その他来訪者	265人
レファレンス	79件
刊行物・所蔵資料の出版物等への掲載	7件
資料の貸出	1件
ホームページアクセス数	14,305件

## 5 その他

- (1) 道によるアイヌ文化普及啓発事業への協力・支援
- 北海道メールマガジン(広報広聴課)での連載  
(「アイヌ文化情報発信!」コラム) 4週に1回掲載(H26年度内全13回)
  - 北海道ふるさと教育・観光教育推進事業(教育庁義務教育課)への協力  
アイヌ文化学習の資料提供(アイヌ文化紹介小冊子等)  
アイヌ語地名学習パネルデータの提供(事業参加校において掲示)
- (2) 研究職員の講師等の派遣
- 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構「口承文芸伝承者育成事業」(講師派遣)  
日 時：平成26年6月～10月  
場 所：白糠町  
講 師：田村雅史(研究職員)
  - 一般財団法人北海道開拓の村「北海道博物館オープン紹介講座」(講師派遣)  
日 時：H27年1月30日  
場 所：北海道開拓の村ビジターセンター

講 師：小川正人（研究主幹）

タイトル：「第2テーマ アイヌ文化の世界」（小川研究主幹）

(3) 研究職員の共同研究参加

- 国立民族学博物館「明治から終戦までの北海道・樺太・千島における人類学・民族学研究と収集活動—国立民族学博物館所蔵のアイヌ、ウイльта、ニウフ資料の再検討—」（研究代表者：国立民族学博物館 齋藤玲子氏）

参加職員：小川正人（研究主幹）

- 国文学研究資料館「民間アーカイブズの保存活用システム構築に関する基礎研究」（研究代表者：国文学研究資料館 大友一雄氏）

参加職員：小川正人（研究主幹）